



# 島の手しごと滞在

## 民芸の島の手仕事と暮らす旅

竹富島は外村吉之助、柳宗悦、バーナード・リーチ、浜田庄司、芹沢銈介などの民芸運動家がこぞって絶賛したことから「民芸の島」とも称されるようになりました。島の風土や暮らしの中で生まれ、今もなを息づく手しごとに寄り添い、島人の想いや島に伝わる文化に触れる滞在をご提案いたします。



### 島の天然素材アダンでカゴを編む

海辺に生えるアダンは丈夫で、昔からカゴを編むのに島人たちに重宝されてきました。このアダンを使って“ヤミカゴ”を編みます。まず、島の民具づくりの名人から基本の編み方を教わります。その後は南風の吹き抜ける客室や、浜辺、がじゅまるの木の元などお気に入りの場所で気の向くままに編んで行きます。滞在の最後までに編み上げ、仕上げて思い出にお持ち帰りいただきます。

### 島の民芸で溢れる客室で暮らす

もともと民芸とは暮らしの中で活用されてきた“用の美”を見いだしたものです。島の暮らしの根づく自然素材のカゴや箒、ミンサー織や天然素材の染め物、やちむんの器など、この島の風土の中で育まれて来た民芸品を客室にご用意。民芸を活用しながら離島の集落で暮らすような滞在を提案します。



#### 民具作りを教えてくれる島人<松竹昇助さん>

“松竹昇助さんほど美しい民具をつくれる人はいない”と島の人からも言われる民具作りの名人。島に自生する苧麻(ちょま/プー)や阿檀(あだん/タコ)、月桃(げっとう)、クロツグ(マーニ)やヒロウ(クバ)などを自ら採取し、乾燥させ、繊維をほぐし、自由自在に仕立てて行く。昔ながらの民具作りの技や島の知恵を今に伝えている。

期間：2016年6月1日～8月31日

含まれているもの：カゴを編む体験、民芸が設えられた特別室のご用意

料金：18,000円(税別・サービス料10別、宿泊費別)

### 星のや竹富島

2012年6月に開業した「離島の集落」石垣島からフェリーで10分。竹富島の東、アイヤル浜海岸に向かう蝶の道を進むと、真新しい琉球赤瓦の集落「星のや竹富島」が現れます。約2万坪の敷地には、島内の家々と同じように「竹富島景観形成マニュアル」に従い、伝統を尊重して建てた戸建の客室、白砂の路地、プール、集いの館、スパ、見晴台など小さな集落が構成されています。

### リリースのお問い合わせ先

星野リゾート グループ広報  
TEL: 03-5159-6323  
FAX: 03-6368-6853  
E-mail: pr-info@hoshinoresort.com